

総合的な学習の時間学習指導案

三次市立酒河小学校

指導者 長岡 靖子

- 1 日時 平成24年10月 2日(火) 5校時
- 2 学年 第5学年 19名
- 3 単元名 「酒屋わくわく自然調査隊」 ～酒屋の自然のよさを知り、広めよう～
- 4 単元について

本学級の児童は4年生の時、古代米、サツマイモ、大豆の生産と収穫をし、古代米、サツマイモの販売を行う体験を通して農業の苦労や工夫、喜びなどを学習してきた。また、地域の方にお世話になって学習を進めていく中で、地域の方の優しさや知恵に触れ、生き方を学ぶことができた。

1学期末のアンケートでは、「酒屋の町がとても好きだ。」と答えた児童は95%おり、「総合的な学習の時間がわくわくして楽しく、夢中になって活動する。」児童は全員であった。「酒屋の自然と触れ合うために山や川に行き活動できるから。」「地域のことをより深く知ることができるから。」「みんなと協力して活動できる。」「話し合いでは、意見交流をして計画が深まった。」「グループでの活動や調べ学習が楽しい。」という理由である。地域のことを調べたり、地域の自然と触れ合ったりすることに充実感を感じている。また、協同的に学習を進めることで、協力することのよさを感じ、仲間意識を持ち始めたと考えられる。

4月のアンケートでは、『知りたい』『解決したい』などの課題を見つけることができる。』に、約7割の児童が否定的に答え、「課題設定能力」に課題が見られた。そこで、単元の大きな課題やそれを解決するための小課題を、ウェビングやアンケートなどをもとに学級で話し合っ設定をした。また、グループに分かれて課題を解決するための方法や情報、内容、まとめ方について計画をたて、課題を解決するための見通しを持たせるために時間をかけた。1学期末のアンケートでは、6割の児童が「課題をたくさんみつけることができる。」と肯定的に回答し、「課題を進んで調べようとする。」児童の割合も、4月のアンケートに比べ約2割増えた。しかし、その課題を解決するために、どんな情報を、どのように収集すればいいのかを考え、効果的に情報を収集する力は弱い。各グループの考えを交流する中で、気付かせたり、意図的な仕掛けをしたりして、主体的に情報を収集する力を付けたい。

酒屋の自然のすばらしさやよさを調べ、交流して認識を深めた後は、立体マップに表して広めることを計画しており、その制作に意欲を高めている。

本単元は、児童が酒屋の「自然」や「ひと」との出会いを通して、自ら課題を設定し、友達と協同的に解決していくことで、自分以外の人たちの考えから学び、自己の成長に生かすことをねらいとしている。

第1次では、酒屋の自然にしっかりと触れ、体験を通してよさを感じながら自分たちが設定した課題を解決するために情報を集め、まとめる。第2次ではまとめたものを学級で交流し、身近な酒屋の自然を見直したり認識を新たにしたりして、学校や地域の人に酒屋の自然のすばらしさを伝える。第3次では酒屋の自然のよさを広めるために、学習したことを立体マップに表し学習のゴールとする。

本単元で主にあつかう「清高の丘」は、学校から約10分ほどの場所にある。「サルトリイバラ」や「笹」の葉、「椿」や「シラギ」、「ヨウシュヤマゴボウ」や「あべまき」など、生活と関連している植物が群生している。ここは、今から約6年前に自治会連合会によって切り開かれた。地域を活性

化させたいという思いと同時に、子どもたちに山を身近に感じてもらいたい、家族のみんなで楽しんでもらいたいなどの願いも持たれて、毎年6月上旬には、「山の日」のイベントが開かれている。

「三軒屋川」は、西酒屋町を流れる小さな川で、児童にとっては、生活科の学習で遊んだ親しみのある川である。江の川の支流である「三軒屋川」は、比較的きれいな川で、生息している生物も多種多様で、「オヤニラミ」や「グンバイトンボ」など他の川にはあまり見られない珍しい生物も生息している。

体験したり調べたりして、普段あまり認識することがない身近な自然のよさや、自然からの恩恵を認識できる学習である。しかし、荒れた山や減反政策などによる放作地が酒屋地域でも増えてきた。

「清高の丘」や「三軒屋川」を活用しながら探究的に学習していくことで、身近な自然の存在とそのよさを感じたり、環境の保全やよりよい環境の創造のための取組を知ったり、地域の方や地域を大切にしようとする生き方や考え方を学んだりすることができるであろう。

酒屋の「自然」や「ひと」との触れ合いから、酒屋と自分とを結び付けることによって、より酒屋に愛着を持ち、これからの自分の生活や行動について考えることのできる単元になると考える。

5 指導観と研究仮説との関連

<p>【指導の手立て (ア)】 多様な情報を活用して協同的に学ぶ場面を設定する。</p>
<p>○清高の丘や三軒屋川のよさを実感させるため、調査活動や体験活動をし、交流することにより、互いの発見の共通点や相違点に気付かせたり、互いの発見の関連性を見つけさせたりする。</p> <ul style="list-style-type: none">・ ウェビングやアンケートなどで酒屋の自然のイメージを広げて交流することにより、よりよい課題を設定させる。・ 多角的に調査する方法（書籍、インタビュー、インターネット、）を提示し、多様な情報を収集させる。・ 実験・観察を通して必要な情報を収集する。・ ファイルに集めた情報を集積させる。・ 調べたことや体験したこと・聞き取りをしたことを交流しながら、カード、マップ、図、グラフなどでまとめ整理・分析する。・ 振り返りカードでまとめさせ交流することにより、新たな情報の整理や視点の明確化を図る。
<p>【指導の手立て (イ)】 力を合わせたり交流したりして協同的に学ぶ場面を設定する。</p>
<p>○ グループや集団で学習活動を進める。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 調査計画を課題別グループで立て、全体で交流することにより調査の確かな見通しを持たせる。・ 課題別のグループで体験活動・調査活動をし、協力して情報を収集させる。・ 収集した情報の効果的な整理・分析の方法を考え、役割分担して作業し、検討させる。・ 課題解決のためのまとめ・表現する場面では、分かりやすく伝える方法を工夫させる。・ 児童相互で評価させる。・ 児童にとってゴールとなるまとめを、役割分担して全員で協力して表現させる。 <p>○地域の人や専門家など校外の人と交流する機会を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 環境の保全活動をしている専門家や地域の方に聞き取りをしたり、一緒に自然と触れ合う活動をしたりして交流する機会を設ける。・ 専門家や地域の方の助言や激励を受ける場面を設定する。

問題の解決や探究活動を協同して行う学習経験を積み重ねれば、児童は主体的に取り組むであろう。

6 単元の目標と評価規準

①目標

(ア) 学習活動への 関心・意欲・態度	○酒屋の自然や環境に興味を持ち、自分とのかかわりで課題をとらえ、解決しようとする。
(イ) コミュニケーション能力	○酒屋の自然や環境の保全に携わる人や友だちなど、相手の気持ちを考えてコミュニケーションを図る。 ○友だちと協力して活動するなど、他者と協同して課題を解決することができる。
(ウ) 問題解決能力	○課題解決に向けて必要な情報を収集し、それらを分類したり整理したりして活用することで、課題を解決することができる。
(エ) 自己の生き方	○酒屋の自然や環境に対する地域の人の思いや願いなど、学んだことを自分の生活の中で生かそうとする。

②評価規準

評価の観点	評価規準	評価方法
(ア) 学習活動への 関心・意欲・態度	①酒屋の自然や環境について興味を持ち、聞き取りしたり調査したりしたことと自分とのつながりで課題をとらえ、解決しようとしている。	・カードや感想 ・発言、行動観察 ・ポートフォリオ
(イ) コミュニケーション能力	①相手の気持ちを考えて意見を述べたり質問や応答したりするなど、目的に応じたコミュニケーションを図っている。 ②酒屋の自然や環境に携わる人にインタビューしたり調べたことをまとめたり、友だちと協力して活動するなど他者と協同して課題を解決している。	・カードや感想 ・作品 ・発言、行動観察 ・ポートフォリオ
(ウ) 問題解決能力	①課題解決にむけて、聞き取ったり体験活動をしたりして必要な情報を収集し、それらから共通点や相違点を見出したり取捨選択したりしながら、課題を解決しようとしている。	・カードや感想 ・作品 ・発言、行動観察 ・ポートフォリオ
(エ) 自己の生き方	①酒屋の自然や環境に対する地域の人の思いや願いなど、学んだことを他者に伝えようとしている。	・カードや感想 ・発言、行動観察 ・ポートフォリオ

7 指導と評価の計画（全70時間）

第一次 「酒屋の自然わくわく調査隊」～酒屋の自然のよさを感じよう～ 35時間

	学習内容	評価					
		評価の観点				評価規準	評価方法
		関	コ	問	自		
酒屋の自然のよさを感じよう（35）	<p>○ 酒屋の自然や環境を知るためにどのようにすればよいか考える。</p> <p style="text-align: center;">課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ウェビングやアンケートなどで酒屋の自然について考える。 ・ 工夫したゴールを考える。 ・ 課題を設定し、グループごとに課題を解決するための見通しを持つ。 	○				<p>ア①酒屋の自然や環境を知ることについて意欲的に学習課題を設定している。</p> <p>ウ①課題を解決するための方法や手段を交流し、解決するための見通しを持っている。</p>	<p>発言</p> <p>行動観察</p> <p>ワークシート</p>
	<p>○グループごとに課題を解決するための情報を収集する。</p> <p style="text-align: center;">情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 清高の丘や三軒屋川などの観察や体験を行う。 ・ 清高の丘や三軒屋川などについて聞き取りをする。 ・ 地域の自然の情報を集めるための活動を行う。 	○				<p>イ①友達とともに情報収集し自分が感じたことや思ったことを相手の気持ちを考えて伝えている。</p> <p>イ②協力して調べ学習をするなど、目的に応じたコミュニケーションを図っている。</p>	<p>発言</p> <p>行動観察</p> <p>ワークシート</p>
	<p>○集めた情報や体験をグループごとにまとめたり取捨選択したりする。</p> <p style="text-align: center;">整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集めた情報を付箋に書き出し仲間分けをする。 ・ カードやマップや図、グラフを使い、整理分析する。 ・ どの情報が必要か取捨選択する。 			○		<p>ウ①課題を解決するためにはどの方法がよいか比較しながら考えている。</p> <p>イ②協力して整理・分析し、目的に応じたコミュニケーションを図っている。</p> <p>エ①酒屋の自然を調べることで地域の人の思いや願いなど、学んだことを伝えようとしている。</p>	<p>発言</p> <p>行動観察</p> <p>ワークシート</p>

<p>○整理した情報をまとめ、交流会をする。</p> <p style="text-align: center;">まとめ・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめたものを分かりやすく伝える。 ・アドバイスをもらい、改善する。 <p style="text-align: center;">課題の設定</p> <p>(27/35) 本時</p>	○	○		<p>イ①分かりやすく意見を述べるなど、目的に応じたコミュニケーションを図っている。</p> <p>ウ①まとめを交流し、グループの課題を解決するための、改善点を考えている。</p>	<p>発言 行動観察 ワークシート 作品 振り返り カード</p>
<p>○アドバイスをもとに、再取材・再調査する。</p> <p style="text-align: center;">情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清高の丘や三軒屋川などの観察や体験をする。 ・清高の丘や三軒屋川などについて聞き取りをする。 ・地域の自然の情報を集めるための活動を行う。 	○	○		<p>ア①よりよいものにしようとい欲的に取組んでいる。</p> <p>イ②協力して調べ学習をするなど、目的に応じたコミュニケーションを図っている。</p>	<p>発言 行動観察 ワークシート</p>

第二次 「酒屋の自然わくわく調査隊」～酒屋の自然のよさを伝えよう～ 10時間
 ・学習発表会で、地域の人に伝えよう

第三次 「酒屋の自然わくわく調査隊」～酒屋の自然のよさを広めよう～ 25時間
 ・酒屋の自然のよさやすばらしさを立体マップで表そう
 ・4年生に伝えよう

8 本時の展開

(1) 本時の目標

○まとめを交流し、グループの課題を解決するための改善点を考える。

(2) 観点別評価規準

○まとめを交流し、グループの課題を解決するための、改善点を考えている。ウ①

(3) 準備物

○各グループのまとめ、ワークシート、振り返りカード

(4) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 めあて ・ 手立て 期待する児童の反応	評価規準 (評価方法)
1 本時の学習課題を確認する。	グループの課題をもっと追究するために、どうしたらよいか考えよう	
<p>2 グループのまとめを見て、意見を交流する。</p> <p>3 グループで改善点を話し合い、全体で交流する。</p>	<p>・ 気付きを（質問やアドバイス、良いところ、まねしたいところなど）交流する。</p> <p>・ グループの課題を解決するためのまとめになっているのかという観点をしっかり押さえる。</p> <p>・ 課題を達成するための情報が集められていない。</p> <p>・ もっとこのような情報を集めたらどうか。</p> <p>・ あまり関係ない情報があるので、もっと整理分析したらよい。</p> <p>・ 自分たちのグループは、このような情報集めをして、集めた情報をこのように整理した。</p> <p>・ グラフが効果的である。</p> <p>・ 文だけでは分かりにくいので、図や絵で表したらよい。</p> <p>・ 小見出しが付いていて分かりやすい。</p> <p>・ 聞き取りをしているので、自分たちのグループに取り入れたい。</p> <p>・ 出た意見を表現方法と内容とに分けて板書し、意識付ける。</p> <p>川グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> 川と川の生物がわたしたちの生活とどのように関係しているのかを調べ自分たちの考えを書きたい。 調べた水生生物を分かりやすくグラフに表したい。 よく分からないところを、専門家の人に聞く。 <p>四季の恵みグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> 数が少ないのもっと聞き取りをする。 聞いた料理を実際に作ってみておいしさを伝えたい。 食べ物以外でも自然と生活がどのようにつながっているのかを書きたい。 <p>山グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的に合う情報が集まっていないので、もう一度「清高の丘」で植物や昆虫を調べたい。 植物の種類をグラフに表したい。 インタビューをして、集めた情報の書き方を工夫する。 <p>今と昔グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> 田んぼの良さがよく伝わらないので、本やインターネットで調べる。 どれくらい田んぼが減ったのか調査する。 水田と米を作っていない田んぼでは何が違うのかを聞き取りをする。 <p>・ 全体で交流した意見や助言が生かされているか。</p> <p>・ 最終的なまとめが、学習発表会や立体マップに生かされることを助言し、意欲を高めさせる。</p>	<p>まとめを交流し、グループの課題を解決するための改善点を考えている。（発言・行動観察）</p>

改善の参考になるように、気付きや理由を詳しく、具体的に伝える。

【言語活動の充実】

4 本時の振り返りをする。	・よりよいまとめになるように改善策がしっかり考えられたか、まとめを仕上げる意欲が高まったか、協同的な学習ができたかの視点で振り返りをさせる。	
5 次時の学習を知る。	・まとめを仕上げるために再調査や再取材をすることを知らせる。	